



## 夜須小学校の教育について②

本年度は、下記のような目標を設定し、こども園・中学校と連携しながら、子供たちが元気に楽しく学ぶことのできる学校づくりを目指し、取組を進めていきます。夜須小学校としましては、保護者・地域の皆様との信頼関係の中で、子供たちの健やかな成長、充実した満足感の得られる学校生活を実現させていきたいと考えております。今後とも本校の教育にご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

また、本年度は、昨年度まで県の指定事業を受け行ってきた特別活動を中心とした研究の成果を生かしながら、算数科の授業研究を進めていきます。対話的な授業をとおして、多様な考えに触れ、友達の意見も取り入れながら、学びを広げていけるよう授業改善に努めていきます。



5月の予定	
日	曜
1	木
2	金
3	土
4	日
5	月
6	火
7	水
8	木
9	金
10	土
11	日
12	月
13	火
14	水
15	木
16	金
17	土
18	日
19	月
20	火
21	水
22	木
23	金
24	土
25	日
26	月
27	火
28	水
29	木
30	金
31	土
6月の主な予定	
3	火
4	水
5	木
11	水
12	木
14	土
16	月
19	木

研究主題	主体的に考え、判断し、行動できる力の育成 ～対話でつないで学びを広げる授業づくり～			
	学力の定着と向上	豊かな心の育成	体力の向上と健康・安全への理解	信頼される学校づくり
中期経営目標	①全国学力・学習状況調査、高知県学力定着状況調査、標準学力調査(2回目)において、全国平均並みの学力を目指す。 ②「授業に主体的に参加している」の肯定的評価95%以上(魅力アンケート) ③「授業で協力したり、話し合ったりする活動をよくしている」の肯定的評価90%(特活アンケート)	①「自分にはよいところがある」肯定的回答90%以上 ②「授業中に自分の思いや考えを安心して言える」肯定的回答90%以上 ③「あなたは、まわりの人の役に立っていると思いますか」の肯定的回答90%以上 ④「あなたは、先生や友達にほめられたり認められたりすることがありますか」の肯定的回答90%以上	①「体育の授業が好き」…1～6年生強肯定75%以上 ②スポーツテストの判定A・B・C層…75%以上 ③「朝からすっきりチャレンジ」(年間3回)の早寝・早起きの項目を向上させる。(3学期の結果で早寝、早起きともに75%以上達成)	①不登校の予防と支援・いじめ防止新規不登校による長期欠席児童0名 ②働き方改革の推進・不祥事の防止全教職員による毎月の勤務時間外の在校時間45時間未満及び不祥事の発生件数0 ③安全教育(防災)「地震時に自分で判断して身の安全を守る」家・建物の中・外とも85%以上 ④ICTの効果的な活用毎日、全児童がタブレットを使用した学習の実施 ⑤こども園・小の円滑な連携・接続こども園・小連携・充実に向けた研修及び交流を年間10回以上
短期経営目標	①全国学力・学習状況調査、高知県学力定着状況調査、標準学力調査(2回目)において、全国平均並みの学力を目指す。 ②特活アンケート「授業に主体的に参加している」の肯定的評価95%以上を目指す。【強肯定70%を目指す。】 ③特活アンケート「授業で協力したり、話し合ったりする活動をよくしている」の肯定的評価90%以上	特活アンケートにおいて、以下の割合を目指す。 ①「自分にはよいところがある」肯定的回答で85%以上を維持する。 ②「あなたは、まわりの人の役に立っていると思いますか」の肯定的回答を85%以上を維持する。 ③「授業中に自分の思いや考えを安心して言える」肯定的回答90%を目指す。 ④「あなたは、先生や友達にほめられたり認められたりすることがありますか」の肯定的回答で85%以上を維持する。	①「体育の授業が好き」…1～6年生強肯定を70%以上を目指す。 ②新体力テストの判定ABC層…3学期までに75%以上を目指す。 ③「朝からすっきりチャレンジ」(年間3回)の早寝・早起きの項目を向上させる。(3学期の結果で早寝は73%、早起きは70%達成を目指す。)	①不登校の予防と支援・いじめ防止新規不登校による長期欠席児童(30日以上)を0名 ②毎月の勤務時間外の在校時間45時間未満の達成率80%及び不祥事の発生件数0 ③安全教育(防災)「地震時に自分で判断して身の安全を守る」家・建物の中85%以上、外80%以上 ④ICTの効果的な活用全児童がタブレットを使用した学習を毎日実施 ⑤こども園・小の円滑な連携・接続こども園・小連携・充実に向けた研修及び交流を年間10回以上
主な方策	①チャレンジタイム、放課後加力指導の実施、昼の学習時間(帯タイム)の活用。算数を柱とした授業研究を実施する。それに合わせて講師を招聘し、教員のスキルアップを図る。 ②児童の発言や思考の跡が分かるように板書を残す。「めあて」と「振り返り」のある授業づくり。夜須小授業スタンダードチェックシートを活用しながら、目指す姿の共有化を図る。 ③ペア学習、グループ学習、ミニ先生など多様な形態を効果的に活用する。(授業スタンダードの実施)導入の工夫や対立意見が出やすい教材づくり(教材研究)を行う。	①②学級会や委員会活動を通して、一人一役の場を設定し、その都度評価していく。 ①②学校行事や集会等を活用して、児童が主体となった活動を行う。 ③対話でつなく授業を行い、ペアやグループ活動、全体での発言の場を仕組む。 ④授業や行事を通して、互いのがんばりを伝え合う時間を設定し、教員も伝えていく。	①児童が主体的に取り組み、対話的な活動を楽しんで行えるような授業づくりをしていく。授業の流れを示したり、分かりやすい資料を掲示したりして、支援を要する児童も無理なく参加できる環境を作る。 ②新体力テストの分析結果を各学級の体育の授業や朝の活動に活かす。 ③朝からすっきりチャレンジの実施に合わせて、生活習慣を見直すための保健指導を実施し、生活習慣の改善につなげる。保健・体育委員会の活動に、全校集会での啓発を取り入れ、児童が意識して取り組むことができるようにする。	①アンケートの実施、SC・SSW等との面談、校内支援会の開催、「『高知家』いじめ予防プログラム」活用の校内研修の実施。 ②各自での定時退校日設定。協働の体制づくり及び声を掛け合い相談できる職場の雰囲気づくり。不祥事防止やハラスメントに関する研修の実施。 ③こども園・小・中合同の避難訓練や地域や外部講師を活用した防災学習の実施。 ④帯タイム、授業でのタブレット活用。 ⑤こども園・小連携の研修会、交流活動の充実。

※予定は変更となる場合があります。